

[成果情報名]ふ化後の餌付けが早いほど、「みやざき地頭鶏」の発育成績は向上する

[要約]「みやざき地頭鶏」の雛に対し、餌付け開始時期を変えて飼養したところ、餌付け開始が早い区ほど初期生育が良好であり、出荷体重についても同様の傾向である。

[キーワード]餌付け開始時期、初期生育、みやざき地頭鶏

[担当]宮崎県畜産試験場・川南支場・養鶏科

[代表連絡先]0983-27-0168

[分類]普及成果情報

[背景・ねらい]

「みやざき地頭鶏」は、一般の肉用鶏に比べ飼育期間が長く、発育に差が生じやすいという問題がある。これを解決するためには、雛の初期発育向上が重要である。現行の飼養管理マニュアルには推奨する餌付け開始時期が記載してあるが、農家ごとに餌付け開始時期が異なる状況にある。

本研究のねらいは、餌付け開始時期が異なる条件下で飼育した「みやざき地頭鶏」の発育等の調査に基づく適正な餌付け方法の参考指標の作成である。

[成果の内容・特徴]

1. 雄雌ともに1および3週齢体重は、ふ化日入雛の区がふ化翌日入雛の区よりも有意に重い。雄の出荷週齢体重は、最も餌付けが遅い区（ふ化翌日入雛・入雛2時間後餌付け）が他区よりも有意に軽いまたは軽い傾向にある。雌の出荷週齢体重は、有意差がないものの、雄と同様の傾向である（図1）。
2. 雌の0-3週齢間飼料要求率は、ふ化日入雛の区がふ化翌日入雛の区よりも有意に低い。出荷までの全期間飼料要求率は、雄・雌ともに最も餌付けが遅い区（ふ化翌日入雛・入雛2時間後餌付け）が他区よりも有意に高いまたは高い傾向にある（図2）。

[普及のための参考情報]

1. 普及対象：みやざき地頭鶏生産者、普及指導機関。
2. 普及予定地域・普及予定面積・普及台数等：宮崎県内の「みやざき地頭鶏」飼育地域。
3. その他：本結果の内容を「みやざき地頭鶏飼養管理マニュアル」改訂版（令和2年2月）に記載した。

[具体的データ]

表1 試験区設定

| 入雛日 | 餌付け開始時期 | 供試羽数 |
|------|---------|-----------|
| ふ化日 | 入雛直後 | 雄 90 雌 90 |
| ふ化日 | 入雛2時間後 | 〃 |
| ふ化翌日 | 入雛直後 | 〃 |
| ふ化翌日 | 入雛2時間後 | 〃 |

※供試鶏は同日ふ化の「みやざき地頭鶏」である。

※入雛日および餌付け開始時期以外の環境条件は全て同一である。

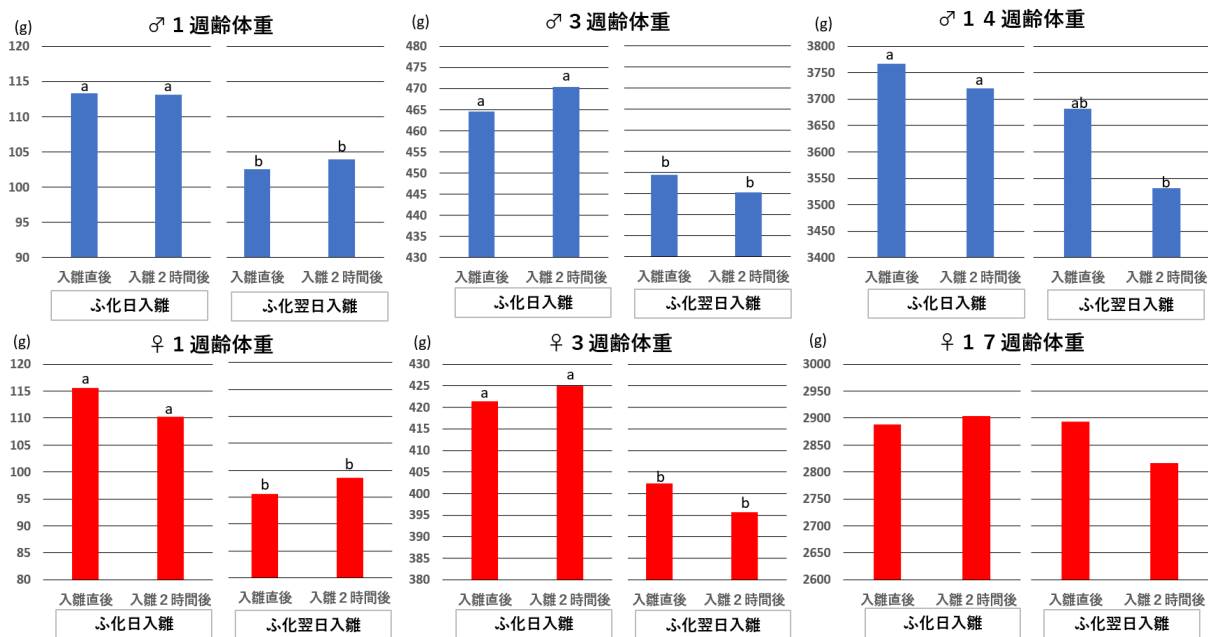


図1 体重の推移

※ab間：p<0.05

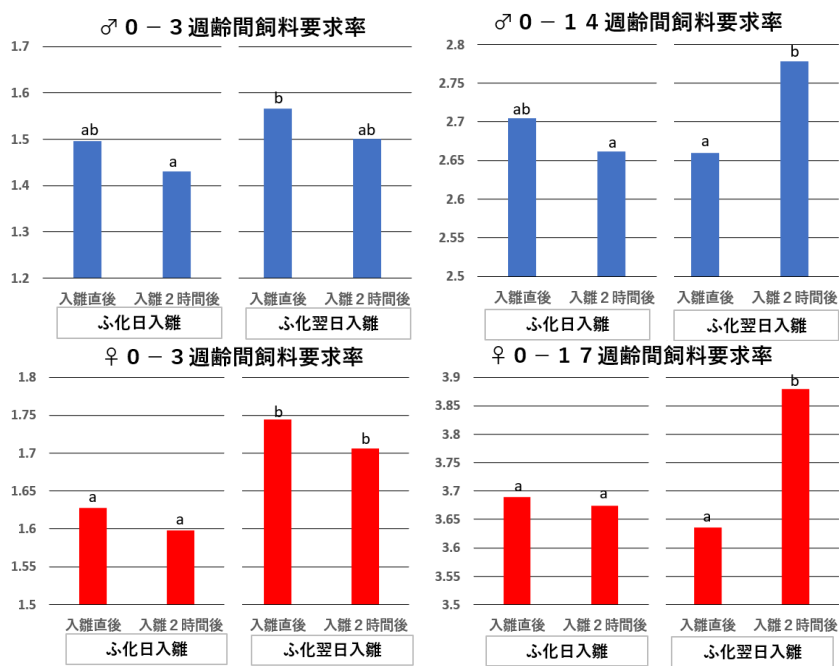


図2 幼雛期および全期間の飼料要求率

※ab間：p<0.05

(宮崎県畜産試験場 川南支場 養鶏科)

[その他]

予算区分：県単

研究期間：2019年度

研究担当者：堀之内正次郎、中山広美、加藤さゆり

発表論文等：堀之内ら(2020)宮崎県畜産試験場試験研究報告掲載予定